ることを知ること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 数量の関係に着目し，計算の意味や計算の仕方を考えたり，日常生活に生かしたりすること。

B　図形

(1) 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識及び技能を身に付けること。

(ｱ) ものの形を認め，形の特徴を知ること。

(ｲ) 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。

(ｳ) 前後，左右，上下など方向や位置についての言葉を用いて，ものの位置を表すこと。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) ものの形に着目し，身の回りにあるものの特徴を捉えたり，具体的な操作を通して形の構成について考えたりすること。

C　測定

(1) 身の回りのものの大きさに関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識及び技能を身に付けること。

(ｱ) 長さ，広さ，かさなどの量を，具体的な操作によって直接比べたり，他のものを用いて比べたりすること。

(ｲ) 身の回りにあるものの大きさを単位として，その幾つ分かで大きさを比べること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 身の回りのものの特徴に着目し，量の大きさの比べ方を見いだすこと。

(2) 時刻に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識及び技能を身に付けること。

(ｱ) 日常生活の中で時刻を読むこと。



イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 時刻の読み方を用いて，時刻と日常生活を関連付けること。

D　データの活用

(1) 数量の整理に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識及び技能を身に付けること。

(ｱ) ものの個数について，簡単な絵や図などに表したり，それらを読み取ったりすること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) データの個数に着目し，身の回りの事象の特徴を捉えること。

〔数学的活動〕

(1) 内容の「A数と計算」，「B図形」，「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については，次のような数学的活動に取り組むものとする。

ア　身の回りの事象を観察したり，具体物を操作したりして，数量や形を見いだす活動

イ　日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動

ウ　算数の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動

エ　問題解決の過程や結果を，具体物や図などを用いて表現する活動

〔用語・記号〕

一の位　十の位　＋　－　＝

〔第２学年〕

1　目　標

(1) 数の概念についての理解を深め，計算の意味と性質，基本的な図形の概念，量の概念，簡単な表とグラフなどについて理解し，数量や図形についての感覚を豊かにするとともに，加法，減法及び乗法の計算をしたり，図形を構成したり，長さやかさなどを測定したり，表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。